

第42回 ゆくさ、おさいじゃした! 医療研 mail ニュース in鹿児島 No.3

【発行】医療研組織委員会 事務局
2015年4月30日
TEL 03-3875-5871
FAX 03-3875-6270
Email:n-ask@irouren.or.jp

※当ニュースは、加盟単組・支部へ転送願います。

動く分科会—川内原子力発電所の 見学内容がきまりました!



- ①原発構内をバス車中から見学
(30分。案内による説明があります)
- ②川内原発資料館内にて、VTR視聴
(15分。福島事故以降の緊急対策など)
- ③資料館内見学 (15分)

※募集は定員をこえたため締め切りました。
※原発構内の見学には、身分証明書(免許書、パスポート、住民票などの原本)が必要です。参加者には5月中に、名鉄観光から確認の連絡があります。

スケジュール

鹿児島中央駅(8時半)→知覧特攻平和会館(ガイドあり)→知覧にて昼食(レストラン)→川内原発→鹿児島空港(17時)→鹿児島中央駅(18時)

今年400回目の爆発を起こし、火山雷で青白く光る桜島の昭和火口—23日午前0時42分、鹿児島市黒神町(南日本新聞桜島監視カメラ)



桜島爆発400回 観測3番目早さ
桜島・昭和火口は23日午前0時40分ごろ、今年400回目の爆発を観測した。年間の最多回数996回を記録した2011年より約1カ月早く、観測史上3番目の早さ。

鹿児島地方気象台によると、400回目の噴煙の高さは1900メートル。噴煙量は中量で、噴石は5合目まで飛んだ。午後6時50分ごろには噴煙が3500メートルに達する爆発もあった。

一方、桜島、諏訪之瀬島、阿蘇山の3火山の噴火に関する気象庁の新たな降灰予報が23日始まった。3月下旬に運用を始めた1日8時30分までの予報に、午後4時47分ごろ起きた桜島の爆発で、運用後初めてとなる予報が出された。気象庁は「ここだけ降るか確認できる。生活に役立ててほしい」と呼び掛けている。(廣庭直之)

現在の桜島の状況

(南日本新聞4月24日付より)

鹿児島紹介① 郷土料理



『がね』 (さつま芋入りかき揚げ)

鹿児島の郷土料理の代表格で、揚げた姿が「かに（鹿児島弁でがね）」に似ていることからこのように呼ばれている。昔から、正月料理に加えられるとともに、焼酎の肴やお茶請け、また、子どものおやつとしても親しまれている。

『さつま汁』

鶏を煮て食う習は古くから行われ、男だけで料理していたようである。手早く野戦料理風にゴツタ煮にされたのが、さつま汁。また、土風を高める闘鶏が兵児（へこ）の間に盛んに行われ、闘鶏で負けた鶏はさつま汁にされていたという。



『つけあげ』 (さつまあげ)

「つけあげ」は、琉球料理の「チキアーギ」が元祖であるという説や、島津斉彬公（1809～1858年）が諸藩に古くから伝わる“紀州はんぺん”や“かまぼこ”の製法にヒントを得て、暖かくて湿度の高い鹿児島の風土に適する、保存性の高い揚げ物料理を考案させたとかという説がある。また、漁村で獲れすぎたアジやイワシなどを保存するために工夫したものだとも言われ、恵まれた海の幸を無駄にしまいとする、生活の知恵が生み出した産物であると言える。

出典：かごしまブランド推進本部HPより

鹿児島紹介② 鹿児島弁講座ぱーと1

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ・「ありがとう」 | → 「あいがともさげました」 |
| ・「この焼酎おいしい」 | → 「こん しょちゅ（しょつ） は、うんめなあ」 |
| ・「宜しくお願いします」 | → 「よろしゅ たのんみやげもんで」 |
| ・「きみ、かわいいね」 | → 「はんな（おまんさあは）むぜなあ（むぜ）」 |
| ・「お世話になりました」 | → 「おせわせえ ないあげました」 |
| ・「おごってください」 | → 「おごっ くいやい」 |

参加状況！

あと40日で医療研！

・参加申込み **84名** (4/30 現在)

参加申込み締切り **2015年5月21日(木)**

たくさんのレポートを



お待ちしております！

レポート締切り **2015年5月25日(月)**